

# とみおかまち



福島県  
富岡町

## 支援員 だより

vol.18

【発行日】  
2022年11月4日

発行 富岡町県外避難者支援拠点事務所 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会 内

お困り事など、どうぞお気軽に！  
連絡待っているっぴ



TEL 048-832-0600

FAX 048-833-8746

MAIL tomioka\_saitama@eos.ocn.ne.jp

### 令和4年度上半期の活動状況報告

県外避難者を対象に  
戸別訪問を行っています！

令和4年度も、早いもので半分を過ぎてしまいました。相変わらずのコロナ禍で、人を集めてのサロンなどを休止していますが、感染者数が少なくなっている時期には、戸別訪問を行っております。昨年は、11月・12月で再開いたしましたが、1月に入り感染が拡大し訪問を休止しておりました。しかし、6月・7月にはコロナウイルス感染者数が減少し、関東圏17世帯に戸別訪問で、お邪魔することができました。宅地の除草についての意見などをいただきました。コロナウイルス感染症の今後の動向を注視しながら、少しずつ活動を再開できればと考えております。訪問の際は、事前に電話で確認させていただきます。今年度は、避難先の支援団体と連携し、町民の皆様と地域との橋渡しができるよう取り組んでおります。地域のイベント等もお知らせできるよう考えております。避難生活が長くなり、抱える問題も多様化してまいりました。今後も、皆様の心の支えとなるよう努力してまいります。お気軽にお声掛けください。

|    | 訪問件数 | 訪問地域         |
|----|------|--------------|
| 6月 | 9    | 千葉県、茨城県      |
| 7月 | 8    | 神奈川県、千葉県     |
| 8月 | 1    | 神奈川県         |
| 9月 | 6    | 神奈川県、千葉県、茨城県 |



2022年9月12日(月)に東京都千代田区の読売大手町ホールにて、チャレンジふくしまフォーラム in 東京が開催されました。内堀県知事が、福島県の未来をスライドを使いわかりやすく説明され、また、トークセッションでは「ザ!鉄腕!DASH!!」とTOKIOの力を借り、福島県の復興をどのように進めるかについて、力強く語られました。プロデューサーの島田さんは、震災の時には、福島の方から逆に励まされたと語っていました。パネルディスカッションでは、「日本酒・農産物(桃など)の魅力的な商品を日本だけでなく世界の国々の人に、味わってもらいたい」と話され、「ザ!鉄腕!DASH!!」の精神「もったいない」の精神で、今まで捨てていた物を加工し、販路を拡大していく販売方法など、パネリストの取り組みをお聞きすることができました。



### 林元支援員からのごあいさつ



おつかれさま  
でしたっぴ!

富岡町の復興支援員として2015年より7年間活動してきました林 力です。2022年3月末をもって退職いたしました。この間、福島県外にお住いの沢山の富岡町民のみなさんに接することが出来ましたこと懐かしく思います。避難者のみなさまのご健康とご多幸をお祈りいたします。



富岡町復興支援員





## 頑張る富岡町民に エール



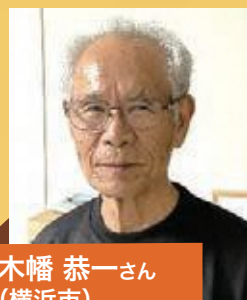
星野 武男さん  
(横浜市)



横浜市在住の星野 武男さんのお宅に戸別訪問させていただきました。

9月12日に満99歳を迎えられましたが「数えでは100歳ですよ。」と笑っておられました。

現在も一人暮らしで家事、炊事、買い物等生活全般をこなしており、近くで見守る娘さんも驚くほど元気に2階への階段の昇り降りもされていました。「長生きの秘訣は？」と尋ねると、「分かんない」と言いながらも、「自分のことが出来るうちは自分です。やがて出来なくなるんだから。それに朝食をしっかり摂ること、抜いたらダメだ。」と話してくださいました。高校野球が大好きで今年の夏は聖光学園の活躍が嬉しかったと応援に力が入ったようです。これからも元気なお姿を拝見できるのを楽しみにしています。



木幡 恭一さん  
(横浜市)

神奈川県横浜市にお住いの木幡 恭一さんをご紹介します。絵を描くことが趣味で描き始めたのは、震災後、神奈川県に避難してから、近所の史跡を調べて絵を描き、説明文を加えて1冊にまとめました。その後、奥の細道の4部作を3年かけて完成させました。今は、クラシック音楽と絵画の融合についての研究を初め、「クラシックの散歩道」と題し、一作目のオペラ座ガルニエ宮シャガール天井画を今年3月に発表しました。今後も続編の発表を期待いたします。とても素敵な生き方がされていると感じました。



吉田 輝夫・孝子さん  
(茨城町)



茨城県は、全国一の栗の産地です。茨城町で栗農家を営んでいらっしゃる吉田 輝夫・孝子さん夫妻をご紹介します。2016年に茨城町へ、来た時にすでに栗畑があり、そこには50年にもなる古木と新しく接ぎ木をして増やした栗林が広がっていました。その中でも利平(りへい)は、実が大きく、美味しい品種で、収穫時期は10月上旬と伺いました。収穫していた栗も大きく立派でした。大自然が相手なので今年の天候不順では、花が狂い咲いたり、品種によっては、実が育たないものもあるようです。土起こしや下草刈りと手入れも大変で、儲からないけど実がなるものを育てるのは楽しみがあっていいと話した笑顔が印象的でした。

皆さん  
お元気です!



### 編集後記



今年度も、コロナウイルス感染症の影響を受け、思い通りに活動ができない日々が続いております。私事です、8月に長女が出産し、初孫でおばあちゃんになりました。一か月ほど自宅に滞在し、夜泣きで眠れない夜が続きましたが、時間が経てば良い思い出になると思います。今はゆっくり過ごせる日が戻り、穏やかな日々を過ごしています。



茨城県(阿見町)/2022年6月



茨城県(つくば市)/2022年6月